

令和5年度「職業実践専門課程」集大成

専門学校静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

校長 中村 徹

先ず、1月1日16時10分に発生した最大震度7の「能登半島地震」において犠牲になられた241名の方々に深く哀悼の意を表するとともに、1300人の負傷者等の被災された多くの皆さま方にお見舞いを申し上げます。そして、一日も早い復旧と復興がなされますことを、心よりお祈り申し上げます。

変化の年、2023年度を振り返る

初の18歳成人！猛暑：異常気象！

今年度は政治、経済、社会、技術などあらゆる面で変化のある1年だった。

長引くコロナ禍の収束を願いながら迎えた4月2023年度。春の季節とともに、「静岡まつり」でも街は人でにぎわうようになり、以前の活気と明るさを取り戻しつつあるような上半期であった。5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類移行。これにより、法律に基づく外出自粛などの要請がなくなり、マスク着用などの感染対策は個人や事業者の判断に委ねられた。

また、今年度から労働基準法、育児休業に関する法改正が施行され企業や社会が一体となって労働環境の改善や生産性向上、子育て支援につながる。そして、長引く世界情勢の緊迫を背景に輸入原材料や原油価格の高騰が続き、加えて10月に米ドル円相場は1\$=150円台を付け、円安傾向も物価高騰に大きな影響を与えた。

次に、身近になってきた生成AI(Generative Artificial Intelligence)の活用だ。利活用方法だけでなく、その真意やフェイク等の規制についての動向も注視を要す。

経済面でも2024年3月に日経平均株価がついに4万円の大台に乗せ、TOPIXも33年ぶりの高値を付けた。

コロナ5類移行後の本格的な景気回復に向け、日本株の動きに注目。

この様な中、2024年は甲辰(きのえたつ)、「物事の始まりや成長」「強運や隆盛」などを表すとされており、前例にとらわれず、「想像・創造」の心をもって目標の実現に向かって進むことを期待する。

また、人生100年時代、社会に出てからも学び続けてください。

「希少性」を高め、SDGsいつまでも身近に感じてください。

学校生活の集大成

本学独自の教育プログラム フィールドスタディ

・CANスカラシップ N-Cap 生 学内外での活動を通して、視野を広げ、学校生活だけではできない経験を通して大きく成長し、「自己実現」に繋げただけでなく、他の学生たちへの模範となった。ありがとう！やり終えた達成感と充実感を感じ、お世話になった方々に感謝の気持ちを忘れずに、今後たくさんの経験を財産としてください。

- ①エコキャップ回収64kg ②子ども食堂の運営・補佐
- ②各種ボランティア活動
- ③まある お仕事体験フェスタ 企画・準備・運営
- ④人宿学園祭 企画・準備・運営
- ⑤高校生ICTカンファレンス ファシリテータ
- ⑥地方行政Webサイト作成 等

電子及び福祉両校のコラボ活動もありがとう！来年度に向けて在校生への継承を頼みます。

- ・夏のスペシャルオープンキャンパス TAで自分磨き
 - 第一弾 在校生に聞こう
 - 第二弾 卒業生が語る業界、仕事の魅力
 - 第三弾 企業人から業界でのキャリアアップ、最新情報をGet!
- ・未来発見！お仕事体験フェア 学生サポータ
- ・海外研修・修学旅行代替 「2年電子・福祉合同東京研修修学旅行」
 - 「歴史を大切にしながら、10年・20年先の社会を見据えた研修」
- ①2025・2030年問題、DX化、異常気象などの現代社会の課題
- ②様々な課題とSDGsとの繋がりを身近に捉える
- ③各学科毎に専門スキルを活かし、問題解決の具体策、貢献できる具体策

令和5年度学生会 会長3TW佐野太一、副会長3CP勝又小乃葉・2IT鮫島 渚 1年間ありがとう！

まだまだ新型コロナウイルスやインフルエンザ感染環境を考慮しながらの学生会活動、成功裏に開催された。春秋のスポーツ大会、我道祭等ご苦労様でした。

君たちのおかげで、思った以上の学校生活が営まれた。

我道祭 文化祭

令和6年2月22日(木)、文化・学園祭24日(土)、25日(日)

公開講座

「メタバースが拓く未来の社会

～エンタメ・ゲームの枠を越えて福祉・医療へと繋がる世界～

卒業研究・ゼミナール成果発表会、ケアスタディ発表会、CANスカラシップ 活動報告会

専門学校静岡電子情報カレッジ

卒業研究・ゼミ成果学科内発表会 卒年全学科 2月6日(火)・13日(火)
卒業研究・ゼミナール成果発表会 卒年全学科 2月21日(木)

静岡福祉医療専門学校

卒業研究・ゼミ成果学科内発表会 3年子ども心理学科 2月8日(木)
ケアスタディ学科内発表会 2年総合・介護福祉学科 2月20日(火)
卒業研究・ケアスタディ発表会 卒年全学科 2月22日(木)
フィールドスタディ研修発表会・CANスカラシップ 活動報告会 2月24日(金)

保育園キッズハウスひかり

令和5年度生活発表会「ひかりの日」3月31日(金)

【卒業研究、ケアスタディ発表会 - コンセプト】

社会にアプローチできる研究テーマへチャレンジし、そのプロセス、プレゼンテーションを通じて自己のスキルアップを図る。

1. 「時代に即した、将来に向けてアプローチできる研究テーマ」であること
2. 関連知識の幅を広げ、汎用性・応用性を身につけ、「付加価値」創造に繋がる発表であること
3. 「プレゼンテーション」、「コミュニケーション」、「ドキュメント」等の技法をマスターし、アピールする手法を身につけること
4. 「企画書」、「スケジュール進捗状況管理表」等を作成し、与えられた時間内で完成する計画的な研究を目指すこと
5. 意地でも「100%の完成度」を追求する 完成することではじめて達成感、充実感を味わう経験が「モノづくりの醍醐味」につながる
6. 「実証実験」に基づく研究発表とすること
7. 発表の際には、資料を読むのではなく、「自分のプレゼン」をする
8. プレゼンの中に、「試行錯誤した点」や「それを将来、どういう形で役立っていくか」をマトメの中に含み、可能なら「継続研究」につなげる

残してくれたみんなの集大成は、本学の貴重な財産である！！

プレゼンを通しての高評価は、学生だけに留まらず、我々教職員にも大きな「自信」となり、これからの学生指導への大きな「励み」となった。この成果は次年度に継承され、今年度以上の大きな成果を期待するところだ。

特に、電子の「産学連携プログラム」や「コラボによる付加価値創造につながるレベルの研究」、福祉においては「地域に開かれた専門学校」に基づく「ボランティア：地域活動」等の後輩への継承を強く期待する。

令和5年度 卒業研究・ゼミナール成果発表会

臨地実習報告・ケアスタディ発表会を終えて

【電子情報 企業対象卒業研究発表会】

○御参加講師（順不同）

- ◆現代倫理 特別講師：齊藤 照安 先生
- ◆オフィスアシタノ代表（本学 非常勤講師）：木野 正弥 先生
- ◆合同会社モノリズム代表社員（本学 教育課程編成委員）
保坂 昇秀 様
- ◆株式会社エスピーエスタくみ取締役（本学 教育課程編成委員）
西森 光男 様

○発表テーマと学生メンバー

<1>「障がい者をターゲットにしたゲーム開発」

ITゲーム&ロボットシステム学科2年
大森 勇之介、坂口 滉一、田中 智大、原田 夏稀

<2>「外部との共創で Web 開発の流れを学ぶ」(三島市子育て)

ITゲーム&ロボットシステム学科2年
阿部 泉咲、江平 和乃子

<3>「企業と連携した PR 動画制作」

音響&映像メディアクリエイト学科2年
鈴木 蒼生、小川 真里奈、神谷 成美

<4>「学生企画 LIVE～The Place～」

音響&映像メディアクリエイト学科2年
内藪暁音、大石璃香、後藤真奈、増田迅、水沼奏太、蓑田侑星

○講師の方々からのご講評より

<1>

- 知的障がい者を対象としたゲーム、という着眼点・発想が大変良い。
- 反省点を今後の開発・製作に活かしてください。活躍が楽しみです。
- 障がい者の理解について、その必要性を感じさせられた。
- 独自デバイスの開発はスキルの高さがうかがえる。
- 3Dモデリング、3Dプリンタの活用も素晴らしい。

<2>

- 考え方が論理化されたプレゼンで、高く評価する。
- QRコードの活用で我々がプレゼンの場で成果物である実際のサイトを見ることができた。
- 今後の課題が明確になったことも大きな成果だ。
- とても聞きやすいプレゼンだった。

- 質疑に対する的確な応答により、よく考えながら研究に取り組んでいることがわかった。
- データベースの構築、検索の仕組みなど、技術レベルの高さが感じられた。

<3>

- クロマキー合成の解説をもっと目立たせてもよかった。
- 作品を楽しく拝見できた。
- 制作の大変さがよく伝わるプレゼンだった。
- 堂々と質疑応答に対応する姿が好印象だ。
- クライアントとのコミュニケーションが適切に行われている。
- 卒業後、業務に役立てられる経験が積めた。

<4>

- 企画・運営・ライブ開催までの一連の流れがよくわかった。
- チケットの制作にあたって、塗り足しについて理解しておいてほしい。
- 後輩へのバトンタッチを是非行ってほしい。
- 的確に質疑応答ができていた。
- 反省点、今後への課題が明確になっていてよい。
- 来場者の満足度の高さから、このライブが成功裏に終わったことがうかがえた。

<総評>

- 全体として各グループが長い時間をかけて研究してきた集大成を見ることができた。
- どの研究も、すべてが産学官連携で行われている。高く評価する。
- 研究の成果を、ぜひ後輩たちにバトンタッチして行ってほしい。
- 学生時代の貴重な経験を積めたことに自信をもって、卒業後も、それぞれの道で活躍してほしい。



<4>の様子

【福祉医療 卒業研究・ケアスタディ発表会
CAN スカラシップ活動報告】

○発表会御参加講師（順不同）

- ◆一般社団法人 日本顧問介護福祉士協会 理事長
本学学校関係者評価委員：石間 洋美 様
- ◆公益社団法人 静岡県聴覚障害者協会
事務局長：小倉 健太郎 様
手話通訳：塚田 祥子 様（本学非常勤講師）、富口様
- ◆本学非常勤講師：塚本 鶴樹 先生

○発表テーマと学生メンバー

<1> 子ども心理学科3年 卒業研究発表

「発達の高齢者に応じたおもちゃ・あそびについて」
～手作りおもちゃと講座を通して～
畝田 知奈美、小松 美結、藤田 奈緒

<2> 介護福祉学科2年 ケアスタディ発表

「否定的エイジズムを肯定的エイジズムにするには」
～M様のできることを引き出す～
太田 真那

<3> 総合福祉学科2年 ケアスタディ発表

「やってほしい、でも自分でやりたい」
～言葉の矛盾から考える利用者様へのアプローチ～
安田 明生

<4> 総合福祉学科3年 卒業研究発表①

「『自分らしさ』が豊かな社会を実現するには」
～私ってどう見えているの～
小笠原 悠斗、佐野 太一、竹下 凜香、横山 大和

<5> 総合福祉学科3年 卒業研究発表②

「分け隔てない平等な社会を創造する」
菊地 拓斗、久米 薫、増田 奈那、望月 沙那

<6> 総合福祉学科3年 卒業研究発表③

「殺したい気持ちをどう乗り越える？」
～老老介護から見える生きづらさ～
石丸 美桜、大畑 悠斗、兼平 一輝、上林 史弥、
栗田 優刀、澤端 泰志

<7> CAN スカラシップ 令和5年度活動報告

視能訓練士学科：白井 日菜、大石 朝陽、松下 紗英
介護福祉学科：進士 はな、高井良 有記、鈴木 祐成
総合福祉学科：赤堀 りろ、増田 菜々、佐藤 朋花、佐野 太一